

図書館だより

杉並区立中央図書館



特集 反骨のジャーナリスト 宮武外骨

特集コーナー紹介 (一般/YA)

新刊紹介

図書館員の本棚

2021年
7月号

特集 反骨のジャーナリスト 宮武外骨

みやたけがいこつ

宮武外骨をご存じだろうか。

入獄4回、罰金、発禁処分29回を受けながらも日本における言論の自由の確立を志向し、政治家や官僚、行政機関、マスメディアを含めた権力の腐敗を言論により追及した日本のジャーナリストである。彼は趣向を凝らした様々なパロディや言葉遊びなどを用いたユーモアに富んだ文章で人気を博し、後のジャーナリストだけでなく、その反骨的な精神やレイアウトの秀逸さから、アート界隈にも影響を与えた。

ここではそんな彼の人生に迫る本をいくつか紹介したいと思う。



1867年2月22日～1955年7月28日
この7月に没後66年を迎える。

学術小説 外骨という人がいた



赤瀬川原平 / 著
白水社 1985.2
請求記号 281 ミ

「心はいつもアヴァンギャルド」という言葉とともに人生を駆け抜けた現代美術家赤瀬川原平による外骨に対するリスペクトに溢れた本。内容は赤瀬川原平の人生にどのように宮武外骨が影響を与えたか、どのような出会ったか、彼にとっての外骨とは何かなどが、コミカルな文体でつづられている。

過激にして愛嬌あり 宮武外骨と「滑稽新聞」

吉野孝雄 / 著
筑摩書房 1992.4
請求記号 : BYヨ

宮武外骨の甥にあたる吉野孝雄による本。明治34年1月から明治41年10月まで刊行された過激にして愛嬌ある雑誌、「滑稽新聞」について書かれている。当時の紙面のコピーや解説などが詳しく載っており、その都度エピソードなどを挟んでくる文体も非常に親しみやすく、思わず外骨の言動に驚かされる。



宮武外骨 頓智と反骨のジャーナリスト

別冊太陽 日本のこころ 250
平凡社 2017.5
請求記号 : 281 ミ



外骨に関する貴重な資料や手記のコピーなどが載っている。外骨は雑誌や新聞のデザインにも拘った。経歴や資料が少ない謎の絵師、墨池亭黒坊の描く滑稽新聞の表紙や挿絵は当時から評価が高く、絵葉書なども人気があった。かの竹久夢二も寄稿絵師の一人だった。滑稽新聞には活字を並べて絵に見せたり縦読みをすると別の文章が現れる現代のウェブサイトで一般化したAA(アスキーアート)の原型と思われる言葉遊びなどがふんだんに活用されている。

この本では、外骨の紙面に対する遊び心やデザインの素晴らしさなどを味わうことができる。

明治34年(1901年)の創刊から7年、当局によって発行禁止令が出された。しかし発禁に追い込まれる前に出した「自殺号」によって明治41年(1908年)に自ら幕を閉じた「滑稽新聞」。大正5年(1916年)に創刊し、選挙違反告発の目的で衆議院議員総選挙に立候補、惨敗ののち、大正8年(1919年)に廃刊となった「スコブル」。

その他多くの刊行物を残している宮武外骨。ここまで彼に関する書籍を紹介してきたが、更に興味がそそられた方は次に彼自身の執筆した文章を読むことをオススメする。彼の著作に親しむほど、自身の表現に嘘をつかない誠実さ、そして「愛嬌」を感じられる。杉並区立中央図書館の保存書庫には宮武外骨の刊行物をまとめた「宮武外骨此中にあり」(051ミ ゆまに書房 1994.3)が所蔵されている。彼のユーモア溢れる文章に実際に触れてみてはいかがだろうか。



本でさがす日本の夏



展示期間
7/2 (金) ~ 8/4 (水)

社会がどんな状況でも、夏は変わらずやってくる！！
冷房の快適さは捨て難いけれどやっぱり暑〜い夏も楽しみたい。いつもとは少し違う夏ですが、昔から変わらない日本の夏と出会える本を集めました。

本 de Voyage

展示期間
7/2 (金) ~ 9/1 (水)

旅に出たくてもままならない、今……
そんな時だからこそ、行きたいあの場所のことを知っておきませんか？
「安全に自由に行動できるようになって、時間とお金があったらあなたはどこへ行きたいですか？」
そんなアンケートを中央図書館の職員 35 名に尋ねた結果を参考に、下記の五つを選出しました。
「長野」「沖縄」「イタリア」「フィンランド」そして「温泉」。
歴史や地理、グルメ、特産物、その場所を描いた小説等あらゆる角度からご紹介します。
いまだからこそ、旅の予習をしてみませんか？

展示期間
7/2 (金) ~ 9/1 (水)

旅する文学



読んでいるだけで時間を、そして空間を行き来できるのが読書の喜びのひとつ。飛行機に乗らなくても、ここではないどこかへ行ける本を集めました。世界を「文学」で旅してみませんか。

ほら吹き男爵の冒険



YA
コー
ナー

BR
ヒ

ビュルガー／著
酒寄進一／訳
光文社 2020.6
請求記号：BR(文庫レッド)ヒ

海底に地底に月世界！？
18世紀に実在した愛すべき“ほら吹き”ミュンヒハウゼン男爵が語る、そんなバカな大冒険の数々。空想で旅に出よう！ドレによる挿画も魅力。

世界の国境を歩いてみたら…

行かなきゃわからない国境のサプライズ！



YA
コー
ナー

290
セ

「世界の国境を歩いてみたら…」番組取材班／著
河出書房新社 2018.12
請求記号：290セ

島国・日本には無いもの—それは地続きの国境線。
BS11の同名番組を書籍化した本書では、国境に生きる人々の多様な人生や、文化、絶景を、写真を交えて紹介しています。国境に宿る物語とは…。

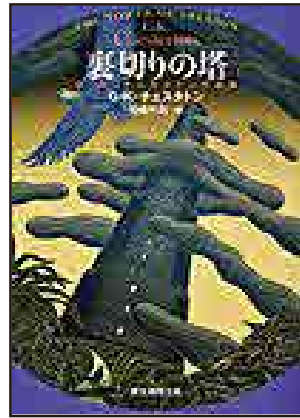
新刊紹介

中央図書館に入った新刊本をご紹介します！！

裏切りの塔

G.K. チェスタトン／著 南篠竹則／訳
東京創元社 2021.5
請求記号 :BR 子

人を食う樹として恐れられる三股の怪樹に挑んだ大地主の失踪事件の真相とは…。怪奇色たっぷりの「高慢の樹」他4編からなる G.K. チェスタトンの作品集。



事実婚と夫婦別姓の社会学

阪井裕一郎／著
白澤社 2021.5
請求記号：367.4 サ

現在注目が高まっている夫婦別姓について、リベラル派と保守派の議論をほぐし、社会学的視点から真に問うべき問題は何なのか提示する。夫婦別姓の議論を整理するとともに、価値の多様性に家族のありかたを拓く最新の夫婦別姓の入門書。



図書館スタッフのおススメの本を紹介するコーナー！！

図書館員の本棚



日蝕

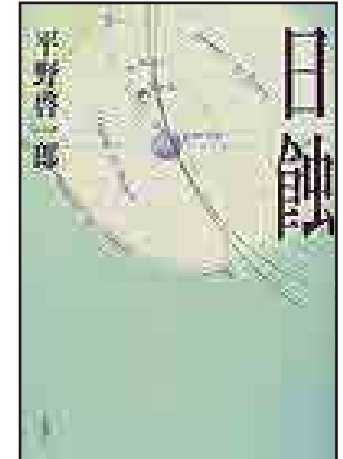
平野啓一郎／著
新潮社 1998.10
請求記号 ヒ 103

第120回芥川賞受賞作品。
受賞時平野氏は大学生であり、当時の最年少受賞者だった。
擬古的で精緻な文章は、三島由紀夫の再来とも森鷗外的であるとも言われていた。その文体は、40代で書かれた「マチネの終わりに」の著者と同一人物とは思えない。

物語は、15世紀フランス。神学僧であった主人公が「ヘルメス選集」を求めて旅に出るところから始まる。錬金術師、ホムンクルス、異端審議、魔女裁判、両性具有者など様々な事象によって、物語は展開していく。

その美意識や官能的な部分が三島を彷彿とさせる一方、主人公が様々な村人（鍛冶屋、錬金術師など）と会話しながら両性具有者にたどり着く展開が、RPG（ロールプレイングゲーム）的であると言われているのも納得がいく。

難解な文章であり、読むことに躊躇するかもしれないが、キリスト教に関する知識が全くなくても意外と読みすすめられるので、恐れず是非、挑戦していただきたい。



7月 のカレンダー

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
28	29	30	○ 1	2	3	□ 4
5	6	★ 7	8	9	10	□ 11
12	13	★ 14	○ 15	16	17	□ 18
19	20	★ 21	□ 22	□ 23	24	□ 25
26	27	★ 28	29	30	31	1

○ : 休館日

□ : 17:00まで

★ : おはなし会 (詳細はなかよしつうしんをご覧ください。)

開館時間

月～土 9:00～20:00

日・祝 9:00～17:00

休館日 第1・第3木曜日

詳しくは、図書館カレンダー、

図書館ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルスに伴う今後の情勢次第で、イベントの内容を変更、または開催を中止する可能性もございます。あらかじめご了承ください。

所在地

〒167-0051

杉並区荻窪3-40-23

☎ 03-3391-5754

杉並区立図書館

公式ホームページ

図書館だより

2021年7月1日 発行

